

情報公開文書(オプトアウト文書)

「社会的孤立と飲酒の関連に関する後方視的研究」へのご協力のお願い

神奈川県立精神医療センターでは、多職種が連携して医療の質の向上を目指した研究を行っています。この研究では、飲酒に関する問題と、社会的孤立や心身の健康との関連について現状調査を行い、アルコール関連問題に関する治療や予防のより良いあり方について検討をしたいと考えております。

研究課題名	社会的孤立と飲酒の関連に関する後方視的研究
研究の対象	2016 年 4 月 1 日～2023 年 9 月 30 日の 7 年半の間に、アルコールに関する問題で神奈川県立精神医療センターの依存症専門外来を受診した方を対象とします。
研究の目的・方法	当院の受診者において得られたデータと神奈川県みらい未病コホート研究のデータとの比較を行います。 多様な生活習慣や健康状態の方々の社会的孤立や心身の健康と、飲酒行動との関連を明らかにします。 この研究によって得られた成果は、学会をはじめ社会に公表し、飲酒問題の解決に役立つことを目的にします。
研究期間	承認日～2028 年 7 月 31 日
研究に使用する情報の種類	神奈川県みらい未病コホート研究の集積データ。 依存症専門外来受診者の電子カルテから得た診療録情報の集積データ。 比較に用いるデータの内容:年齢、性別、診断名、初診時の飲酒量、頻度、飲酒習慣化の年齢、生活背景や生物学的な検査値の情報など。
研究実施機関(研究組織)	神奈川県立精神医療センター臨床研究部 研究責任者:板橋 登子 神奈川県立がんセンター臨床研究所 神奈川県みらい未病コホート 研究責任者:成松 宏人
外部への試料・情報の提供	外部への試料・情報の提供はいたしません。 患者さん個人が特定できないように匿名化し、調査するため、個人情報が入ることはありません。プライバシーには十分に配慮します。

情報管理責任者	板橋登子(神奈川県立精神医療センター臨床研究部)
---------	--------------------------

本研究はヘルシンキ宣言(2013 年 10 月 WMA フォルタレザ総会での修正版)及び人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針(2022 年 4 月 1 日施行)に従って実施され、患者さんの個人が特定できる情報とは切り離したうえで使用します。

本研究は、神奈川県みらい未病コホート研究の日本多施設共同コホート研究(J-MICC Study)の結果との比較検討をいたします。

研究の成果は関係の学会や学術雑誌で発表されますが、個人を特定できることはありません。

研究者は、企業等とは独立して計画を立案し実施いたしますので、開示すべき利益相反はありません。本研究の対象として情報は利用しないでほしい等のご要望がございましたら、下記連絡先までご連絡ください。その場合も診療において不利益を被ることはございません。

尚、調査と検討が進み統計的処理が実施、公表された場合には、情報の削除ができないことをご了承ください。

本研究についてお尋ねになりたいことがございましたら下記連絡先にお問い合わせください。個人情報等に支障のない範囲で研究計画書を閲覧することもできますのでお申し出ください。

また、相談窓口は、神奈川県立精神医療センター総務課倫理委員会事務局です。

神奈川県立精神医療センター
研究責任者: 板橋登子

本研究に関する連絡先
神奈川県立精神医療センター
総務課 倫理委員会事務局
Tel: 045-822-0241